

HP Operations Orchestration Software

ソフトウェアバージョン: 7.60

リリースノート

ドキュメントリリース: 2010 年 1 月

ソフトウェアリリース: 2010 年 1 月



ご注意

保証

HP の製品およびサービスの保証は、当該製品およびサービスに付属する明示的な保証の声明において定められている保証に限られます。本ドキュメントに記載されたいかなる内容も、追加の保証を構成するものではありません。当社は、本ドキュメントに技術上の誤り、編集上の誤り、記載漏れがあった場合でも責任を負わないものとします。本ドキュメントに記載した情報は、予告なしに変更することがあります。

制限付き権利

本ドキュメントで取り扱っているコンピューターソフトウェアは秘密情報であり、その保有、使用、または複製には、HP からの有効なライセンスが必要です。FAR 12.211 および 12.212 に従って、商業用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェア資料、および商業用製品の技術データは、ベンダー標準の商業用ライセンス条件に基づいて米国政府にライセンスされています。

著作権

© Copyright 2005-2010 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

商標

オープンソースおよび第三者のソフトウェアの承認については、本リリースに関する文書一式内の『オープンソースおよび第三者のソフトウェアの承認 (3rdPartyOpenNotices.pdf)』を参照してください。

インターネット上にある OO のサポートとドキュメント

2つのサイトで、OO ヘルプシステム、ガイド、チュートリアルを更新を含むサポートおよびドキュメントを入手することができます。

- OO サポートサイト
- BSA Essentials Network

サポート

HP ソフトウェアのドキュメントは継続的に拡充が図られています。HP OO のドキュメントセットやチュートリアルは、HP Software 製品マニュアルの Web サイトでいつでも入手または更新できます。この Web サイトにログインするには、HP Passport が必要になります。

HP OO のドキュメントおよびチュートリアルを入手するには

1. HP Software 製品マニュアルの Web サイト (<http://support.openview.hp.com/selfsolve/manuals>) に移動します。
2. HP Passport のユーザー名とパスワードを入力してログインします。

または

HP Passport を取得していない場合は、**[New users – please register]** をクリックし、HP Passport を作成してからこのページに戻ってログインします。

HP Passport の取得についてご不明な点がある場合は、HP OO の窓口でご確認ください。

3. **[製品]** リストボックスで下にスクロールし、**[Operations Orchestration]** を選択します。
4. **[製品バージョン]** リストで、目的のマニュアルのバージョンをクリックします。
5. **[オペレーティングシステム]** リストで、該当するオペレーティングシステムをクリックします。
6. **[検索]** ボタンをクリックします。
7. **[検索結果]** リストで、必要なファイルのリンクをクリックします。

BSA Essentials Network

パッチ、トラブルシューティング支援、サポート契約の管理、製品マニュアル、その他のサポート情報に関しては、次のサイトを参照してください。 <http://www.hp.com/go/bsaessentialsnetwork>

これは **BSA Essentials Network** の Web ページです。サインインするには、以下の手順に従ってください。

1. **[Login Now]** をクリックします。
2. **[HP Passport sign-in]** ページで、HP Passport のユーザー ID とパスワードを入力し、**[Sign-in]** をクリックします。
3. HP Passport アカウントをお持ちでない場合は、以下の手順に従ってください。
 - a. **[HP Passport sign-in]** ページで、**[New user registration]** をクリックします。
 - a. **[HP Passport new user registration]** ページで、必要な情報を入力して **[Continue]** をクリックします。
 - b. 確認ページが開きますので、入力した情報を確認し、**[Register]** をクリックします。
 - c. **[Terms of Service]** ページで利用規約および法的な制限事項を読み、**[Agree]** ボタンを選択して **[Submit]** をクリックします。
4. **[BSA Essentials Network]** ページで、**[Operations Orchestration Community]** をクリックします。

[The Operations Orchestration Community] ページには、お知らせ、ディスカッション、ダウンロード、ドキュメント、ヘルプ、サポートへのリンクがあります。

注：不明な点がございましたら、HP OO の窓口までお問い合わせください。

OO 内のヘルプ、PDF、チュートリアル

HP Operations Orchestration Software (HP OO) のドキュメントセットは次の内容で構成されています。

- Central のヘルプ

Central のヘルプには次の情報が記載されています。

- フローの検索と実行
- HP OO の機能の設定 (HP OO 管理者向け)
- フローの実行結果から利用可能な情報の生成と表示

Central のヘルプシステムは PDF ドキュメントとしても参照できます。このファイルは、HP OO のホームディレクトリ (\Central\docs サブディレクトリ内) にあります。

- Studio のヘルプ

Studio のヘルプは、プログラミングの初心者から上級者まで幅広く対応する、フロー作成のための手引きです。

Studio のヘルプシステムは PDF ドキュメントとしても参照できます。このファイルは、HP OO のホームディレクトリ (\Studio\docs サブディレクトリ内) にあります。

- Central 用および Studio 用の動画チュートリアル

HP OO のチュートリアルはどちらも 30 分未満で終わるもので、次の内容について基本的な説明をします。

- Central: フローに基づく情報の検索、実行、表示
- Studio: フローの編集

これらのチュートリアルは、HP OO のホームディレクトリ以下にある Central と Studio のサブディレクトリ内にあります。

- アクセラレーターパックフォルダーおよび ITIL フォルダー内にあるオペレーションやフローについてのセルフドキュメンテーション

セルフドキュメンテーションは、フローに含まれているオペレーションやステップの説明で見ることができます。

新機能

OO 7.60 には、次の新機能が搭載されています。

- インストーラーの変更により、ローカライズされた日本語版 7.60 バージョンをサポート
- Oracle 11g データベース (Oracle RAC を除く) をサポート
- VMware ESX 4.0 をサポート

インストールとアップグレードの問題

重要:

1. 現在、OO 7.51 が、以下のバージョンとしてリリースされた最新の OO 7.51 コンテンツと共にインストールされている場合、

- OO 7.51.02 (以下のサポートを含む)
 - VMware Vsphere 4.0
 - HP Network Automation 7.5
 - HP Server Automation 7.8
 - HP SiteScope 9.5
 - HP Universal CMDB
 - BEA WebLogic Server 10.3
 - HP Proliant iLO
 - HP Operations Manager

または

- OO 7.51.04 (以下のサポートを含む)
 - Amazon EC2
 - VMware vCenter Orchestrator

OO 7.60 にアップグレードすると、新しいコンテンツが失われます。

既存の OO 7.51 を使用しているお客様は、上記のいずれかのコンテンツを必要とする場合、OO コンテンツの次のリリースが出荷されるまでは OO 7.60 にアップグレードしないでください。

2. 現在、OO 7.50 が、以下のバージョンとしてリリースされた最新の 7.50 コンテンツと共にインストールされている場合、

- OO 7.50.03 (以下のサポートを含む)
 - HP Server Automation 7.8
 - Peregrine Service Center
 - BMC Remedy

OO 7.60 にアップグレードすると、新しいコンテンツが失われます。

既存の OO 7.50 を使用しているお客様は、上記のいずれかのコンテンツを必要とする場合、OO コンテンツの次のリリースが出荷されるまでは OO 7.60 にアップグレードしないでください。

3. OO 7.60 を新規インストールされるお客様の場合、下記の事項を考慮した上で、OO 7.60 をインストール後、OO 7.51.02 と OO 7.51.04 のコンテンツを適用することができます。
 - a. Live Network が OO 7.51 のコンテンツを OO 7.60 のシステムに適用しない為、OO 7.51.02 と OO 7.51.04 のコンテンツを手動で適用する必要があります。以下のコマンドでコンテンツを手動で適用します:

```
java -jar Full-Installer.jar -centralURL <remote central URL> -centralPassword <your Central password> -centralUsername <Central Username>
```

- b. OO 7.51.04 は、OO 7.51.02 を適用した後に適用する必要があります。
 - c. OO 7.51.02 または OO 51.04 のコンテンツに Installer.jar ファイルを適用した場合、**Streaming content to RAS(s) failed** エラーでインストールが失敗することがあります。この問題は、RAS に接続できないかコンテンツを適用することができないことが原因で発生します。コンテンツが正しくインストールされるまで、コマンドの実行を再試行してください。
 - d. OO 7.51.02 と OO 51.04 のコンテンツは、英語でのみ提供されます。いずれかのコンテンツを OO 7.60 日本語版のシステムに適用した場合、コンテンツが英語で表示されます。
4. UAC が有効な Windows 2008 マシンで OO 7.51 から OO 7.60 にアップグレードした場合、アップグレードは失敗します。この問題を回避するには、コントロールパネルの**ユーザー アカウント**で UAC を無効にする必要があります。

ドキュメントの変更点

- 『*HP Operations Orchestration のインストールとアップグレード: Windows, Linux, Solaris オペレーティングシステム*』および『*Oracle Real Application Clusters 用 HP OO インストールの手引き*』
Central のインストール手順 (詳細版と簡易版の両方) に、製品の英語版または日本語版を選択できる、画面 (Windows インストーラー) とパラメーター (Linux インストーラー) の説明が追加されました。
- システム要件
ハードウェア要件とサポートされているソフトウェアバージョンの変更点についての説明があります。
- 次のドキュメントとヘルプシステムが日本語に翻訳されています。
 - 『*システム要件*』 (Sysreqs.pdf)
 - 『*HP Operations Orchestration のインストールとアップグレード: Windows, Linux, Solaris オペレーティングシステム*』 (InstallGuide.pdf)
 - 『*Oracle 10g Real Application Clusters 用 HP OO インストールの手引き*』 (InstallingHPOO_RACGuide.pdf)
 - 『*Central ユーザーガイド*』 (Central_UsersGuide.pdf) およびヘルプシステム
 - 『*Operations Orchestration フロー作成の手引き*』 (Studio_AuthorsGuide.pdf) およびヘルプシステム
 - 『*リリースノート*』 (HP OO 760_ReleaseNotes.pdf)

既知の問題

不具合 QCCR1D8853: フローのトランジションの値で通貨に対してドル記号が使用される

フローのトランジションの値では、通貨に対してドル記号のみが使用されます。円を含むその他の通貨は、OO 7.60 ではサポートされません。

不具合 QCCR1D8865: 算術および比較のオペレーションで、日本語の数字と演算子がサポートされない

Library/ユーティリティオペレーション/数値演算および比較/フォルダーにあるオペレーションでは、複数バイトの日本語の数字はサポートされません。これらの数字を使用するオペレーションおよびフローでは、検証エラーメッセージが返されるか、ユーザーに値の再入力が求められます。

不具合 QCCR1D98279: 共有 Studio リポジトリへの接続が接続遅延の影響を受ける

共有 Studio リポジトリに接続する場合、低遅延接続を使用することをお勧めします。Studio のパフォーマンスは、接続遅延の影響を大幅に受けるため、高遅延接続を使用すると、Studio の実行は非常に低速になります。

不具合 QCCR1D98417: 並列分岐ステップで、連結名 **done** とそのツールチップがローカライズされていない

日本語の OO 環境では、並列分岐ステップの連結名が翻訳されずに **done** と表示されます。連結名 **done** のツールチップもローカライズされていません。

不具合 QCCR1D98965: HELP コマンドを実行する「Cmd」オペレーションが失敗する

HELP コマンドを実行する「Cmd」オペレーションを使用するフローは失敗します。この問題を回避するには、次の操作を実行します。

5. 「Cmd」オペレーションを開き、[レスポンス] タブをクリックします。
6. **success** レスポンスを開きます。
7. **success** ルールを開いて、[比較対象] フィールドを 0 から 1 に変更します。

不具合 QCCR1D99371: ドイツ語版オペレーティングシステムのドイツ語ロケールでは、**Central** で数字が正しく表示されない

OO 7.60 でサポートされているのは日本語のローカライズのみで、ドイツ語のローカライズはサポートされていません。ヨーロッパでは、小数点としてコンマ(“,”)が使用され、3 桁区切り文字としてピリオド(“.”)が使用されます。日本語以外の非英語ロケールに設定されている英語版配布においてこの問題を回避するには、次のいずれかの操作を実行します。

- DharmaMessages.properties ファイルのロケールに従って、4 つの日付/時刻形式を変更します。すべての Central ノードとすべての Studio でこの操作を実行する必要があります。
- すべての Central ノードに対して wrapper.conf ファイルの地域を切り替えます。
- すべての Studio に対して Studio.14j ファイルの地域を切り替えます。

不具合 QCCR1D99469: JavaScript デバッガーウィンドウがローカライズされていない

Central と Studio を日本語 Windows 環境にインストールし、デフォルトの言語として日本語を選択した場合、ローカルリポジトリの JavaScript デバッガーは OO ユーティリティではないため、ローカライズされていません。

不具合 QCCR1D99606: OO Shell Wizard で Telnet を使用すると、日本語の文字が正しく表示されない

Shell Wizard では、Secure Sockets (SSH) または Telnet プロトコルを基にしたシェルオペレーションを含むフローを作成できます。Telnet プロトコルを選択した場合、Shell Wizard では日本語の文字が正しく表示されません。Windows 環境で日本語の文字を正しく表示するには、接続の確立後に、コマンドウィンドウに「chcp 65001」と入力して、コードページを UTF-8 エンコードに設定します。

不具合 QCCR1D99677: 日本語 JIS 2004 文字セット (UTF-16 エンコードでは新しい漢字 1 文字が 2 バイト + 2 バイトで表現される) がサポートされない

新しい漢字を扱うための日本語 JIS 2004 文字セットは、Windows 2008 および Vista オペレーティングシステムでのみサポートされています。OO 7.60 では、Oracle データベースでの動作のみが保証されています。

不具合 QCCR1D99711: 「JRAS Telnet シェル」オペレーションの [visualized] 結果フィールドで、複数バイト文字がサポートされない

日本語版の OO では、Library/Operations/ リモートコマンド実行 /Telnet/ フォルダにある「JRAS Telnet シェル」コマンドの [visualized] 結果フィールドでは、日本語文字がサポートされません。この問題を回避するには、次の新規入力を作成します。

- **characterSet** ターゲットマシンからの入力ストリームのエンコードの文字セット名 (SJIS、EUC-JP、UTF-8 など)。デフォルトは UTF-8 です。
- **characterDelay** Telnet コマンドの文字が送信される間のミリ秒単位の遅延。視覚化された結果の生成と着信ストリームの受信との間の遅延でもあります。

不具合 QCCR1D99769: Studio の「アプリケーション」という名前のアイコングループの 1 つは、正しくは「注釈」という名前である

Studio の [アイコン] パネルにある、[アプリケーション] という名前のグループの 1 つ (上の方) は、正しくは [注釈] という名前です。

不具合 QCCR1D99824: 日本語版の Studio で、メニューホットキーが表示されない

Studio メニューのホットキー ([編集] メニューの [切り取り] に対応する **Ctrl+X** や、[ファイル] メニューの [保存] に対応する **Ctrl+S** など) は、日本語版では表示されません。

不具合 QCCR1D99909: 日本語版の Central では、完全なフロー名で検索しないと、キーワードによるフローの検索が失敗する

日本語版の Central でフローを検索する場合、フローの完全な名前を使用しないと、検索は失敗します (たとえば、単に **ACL** でなく、**Manage Volume ACL** を使用します)。

不具合 QCCR1D100061: 日本語版の **Central** で、無効な文字列を使用したために検索が失敗した場合、結果のエラーメッセージが日本語にローカライズされていない

日本語版の **Central** で **Windows *** や **Windows ?** などの無効な文字列を使用すると、受け取るエラーメッセージは日本語にローカライズされていません。

不具合 QCCR1D101178 (不具合 QCCR1D99302 および不具合 QCCR1D102967 も同様): 日本語版の **Central** では、処理メッセージ「**Loading**」がローカライズされていないか、**2** 行に分割されて翻訳されている

日本語版の **Central** では、多くのウィンドウやダイアログボックスで表示される「**Loading**」という進捗状況を表す文字列は、**2** 行に分割された文字列として翻訳されているか、まったくローカライズされていません。

不具合 QCCR1D102054: 日本語版 **OO** では、「通知」ステップを **Central** で実行したり、**Studio** でデバッグすると、メッセージが英語で表示される

日本語版 **OO** では、「通知」ステップを含むフローを実行すると、[通知] ウィンドウのメッセージ (件名を含む) が英語で表示されます。

不具合 QCCR1D102360: **Central** をドイツ語のオペレーティングシステムにインストールして、ロケールをドイツに設定すると、レポートの番号が正しく表示されない

OO 7.60 でサポートされているのは日本語のローカライズのみで、ドイツ語のローカライズはサポートされていません。

不具合 QCCR1D102438: [host] 入力で **Windows** 日本語版 **OS** のホストが指定されている場合、「接続テスト」フローが「**Ping**」ステップで失敗する

[host] 入力で **W2k8** 日本語版 **OS** を指定すると、**Library/ アクセラレーターパック / ネットワーク / 接続 / フォルダーにある「接続テスト」** フローが「**Ping**」ステップで失敗します。これは次のフローでも発生します。

Library/ アクセラレーターパック / ネットワーク / 接続 / 反復接続テスト

Library/ アクセラレーターパック / ネットワーク / 接続 / オペレーターサーバー接続確認

Library/ アクセラレーターパック / ネットワーク / 接続 / 診断 / 詳細な接続診断

Library/ アクセラレーターパック / ネットワーク / 接続 / 診断 / マルチホスト接続診断

Library/ アクセラレーターパック / オペレーティングシステム / Windows / 診断 / ネットワーク診断

Library/ アクセラレーターパック / オペレーティングシステム / Windows / 診断 / Windows 診断

Library/ITIL/ インシデント管理 / ネットワーク / 接続の確認

Library/ITIL/ インシデント管理 / サーバー / 接続の確認

不具合 QCCR1D102735: 「構成詳細の表示」オペレーションを日本語の文字を含む NA 構成ファイルと共に実行すると、文字が正しく表示されない

Library/ 統合 /Hewlett-Packard/Network Automation/7.x/構成/ フォルダにある「構成詳細の表示」を含むフローを、日本語の文字を含む Network Automation 構成ファイルと共に実行すると、これらの文字が正しく表示されません。

不具合 QCCR1D102971: 日本語版の Central では、ツールチップと [結果の種類] の値が英語で表示される

日本語版オペレーティングシステムにインストールされている日本語版の Central では、[ダッシュボードレポートの詳細] ページのツールチップと [結果の種類] の値が英語で表示されます。

不具合 QCCR1D103007: 日本語ロケールのマシンにインストールされている Central では、メッセージボックスに出力したメッセージはローカライズされていないが、[結果の概要] のメッセージはローカライズされている

日本語ロケールのマシンでメッセージボックスに出力を表示するフローを実行すると、[結果の概要] ではローカライズされているメッセージが、メッセージボックスではローカライズされていません。

不具合 QCCR1D103014: Studio でオペレーションを作成する場合、スクリプトレットをドラッグアンドドロップできない

スクリプトレットを Configuration/Scriptlets/ フォルダからオペレーションの [スクリプトレット] タブにドラッグしても、動作しません。

不具合 QCCR1D103333: NFS v3.0 を使用している OO クラスタが、最新でない NFS ファイル処理例外で失敗することがある

NFS v4 を使用して OO クラスタを設定すると、この問題は発生しません。

不具合 QCCR1D103398: Operations Manager の「すべてのノードグループ情報の取得」オペレーションと「すべてのサービス情報の取得」オペレーションを同じフローで使用すると、失敗する

フローに「すべてのノードグループ情報の取得」オペレーション (Library/ 統合 /Hewlett-Packard/Operations Manager/Windows のみ /ノードグループ /フォルダ) および「すべてのサービス情報の取得」オペレーション (Library/ 統合 /Hewlett-Packard/Operations Manager/Windows のみ /サービス /フォルダ) が含まれている場合、次のいずれかのエラーで失敗します。

- **Unauthorized Access** 例外エラー (Operations Manager が管理者以外のユーザーによってインストールされた場合)。
- **Result Validation Failed** エラー (Operations Manager が管理者ユーザーによってインストールされた場合)。

不具合 QCCR1D103799: 日本語版の OO で、[HP Service Manager のチケットの種類] の選択リストアイテムが英語で表示される

日本語版の OO では、Configuration/Selection Lists/ フォルダーに表示される [HP Service Manager のチケットの種類] 選択リストアイテムが、日本語ではなく英語で表示されます。

不具合 QCCR1D103813: [severity] の入力値に日本語を指定すると、HP Service Manager の「変更の作成」オペレーションが失敗する

日本語版の OO がインストールされているマシンに HP Service Manager 7.01 日本語版をインストールすると、「変更の作成」オペレーション (Library/ 統合 /Hewlett-Packard/Service Manager/ 変更管理 / フォルダー) で作成されたフローのうち、[severity] 入力が日本語で指定されているフローは失敗します。

不具合 QCCR1D103819: 有効な入力でも、HP Service Manager の「問題の作成」オペレーションが失敗する

フローに「問題の作成」オペレーション (Library/ 統合 /Hewlett-Packard/Service Manager/ 問題管理 / フォルダー) が含まれている場合、[initialimpact] と [severity] に格納されている値が整数以外であると失敗します。これらの入力に格納できるのは整数のみです。

不具合 QCCR1D103862: 「HTTP クライアント詳細取得」オペレーションで、複数バイト文字がサポートされていない

Library/Operations/HTTP クライアント / フォルダーにある「HTTP クライアント詳細取得」オペレーションでは、複数バイトの文字が正しく表示されません。この問題を回避するには、**characterSet** という名前のオプションの入力を作成して、ファイルのエンコードに使用する文字セットを指定します。

不具合 QCCR1D103906 および QCCR1D100925: EUC、Shift-JIS、UTF-16 などの形式でエンコードされている追加の日本語テキストを読み取ることができない

日本語版の OO では、日本語テキストをファイルに追記したり読み込んだりするオペレーション(「ファイルへの追加」や「ファイルからの読み込み」など)は、EUC、Shift-JIS、UTF-16 などの形式でエンコードされたテキストを正しく処理できません。

この問題を回避するには、**characterSet** という名前のオプションの入力を作成して、ファイルにテキストを追加したり、ファイルからテキストを読み取る際のテキストのエンコードに使用する文字セットを指定します。

不具合 QCCR1D103952: 日本語の数字がサポートされない

OO 7.60 では、スケジューラーで使用されるような日本語の数字はサポートされません。

不具合 QCCR1D104162: Peregrine Service Center の「問題詳細の取得」オペレーションで、問題の詳細情報が取得されない

Library/ 統合 /Hewlett-Packard/Peregrine Service Center/ オペレーション/ フォルダーにある「問題詳細の取得」オペレーションは、正常に実行された場合であっても問題の詳細情報を返しません。問題 ID のみを返します。

不具合 QCCR1D104187: Peregrine Service Center の「インシデント情報の取得」フローが、複数バイトのユーザー名で接続に失敗する

Service Center のユーザー名を日本語文字で作成すると、Library/ 統合 /Hewlett-Packard/Peregrine Service Center/ フォルダーにある「インシデント情報の取得」フローが Service Center への接続に失敗します。

不具合 QCCR1D104341: データベースの削除後に、[フローのプレビュー] ページの実行メトリックが正しく表示されない

`prune_run_history` スクリプトを使用してデータベースを削除した後、[ダッシュボード] ページおよび [フローのプレビュー] ページの [レポート] ペインにある [実行メトリック] バーに、正しくないカウントまたは負のカウントが表示されます。

不具合 QCCR1D104543: 監視名が親のグループ名と異なる場合、HP SiteScope の「モニタの実行」オペレーションが失敗する

Library/ 統合 /Hewlett-Packard/SiteScope/9.0/ フォルダーにある「モニタの実行」オペレーションは、監視名が親のグループ名と異なる場合、失敗します。SiteScope 9.0 で監視名を作成する必要があります。OO では作成できません。監視名の有効なパスの例としては、`ping/ping` や `test/test` が挙げられます。

不具合 QCCR1D104622: Studio のドキュメントの生成機能で、生成される HTML ページのステップの長いアイコン名が切り捨てられる

Studio のドキュメントの生成機能で生成される HTML ページでは、ステップの長いアイコン名が切り捨てられます。

不具合 QCCR1D105041: 「URL テスト」および「Web サイトヘルスチェック」フローで、認証またはプロキシが必要な Web サイトを指定した場合、そのサイトに日本語の文字が含まれていると、日本語の文字が正しく表示されない

Library/ アクセラレーターパック /ネットワーク /Web ページ/ フォルダーにある「Web サイトヘルスチェック」フローを実行し、認証またはプロキシが必要な Web サイトを指定した場合、そのサイトに日本語の文字が含まれていると、「リンクチェッカー」サブフローの「Web ページの取得」ステップで、ステップ結果インスペクターに日本語の文字が正しく表示されません。これと同じ現象が、「URL テスト」フロー (同じフォルダー) を実行した場合にも、「Web ページがアクセス可能かどうかの確認」ステップで発生します。

不具合 QCCR1D105526: 「severity」を日本語で入力した場合、OO 7.60 日本語版で、「変更の作成」オペレーションが失敗します

OO 日本語版と Service Manager 7.01 日本語版を使用し、「severity」を日本語で入力した場合、Library/統合/Hewlett-Packard/Service Manager/変更管理/ フォルダーにある「変更の作成」オペレーションが失敗します。この問題を回避するには、日本語文字ではなく 1、2、3 と 4 などの数字を使用する必要があります。

不具合 QCCR1D105535: 「ini ファイルの読み込み」と「ini ファイルへの書き込み」オペレーションで、複数バイト文字がサポートされない

Library/Operations/ファイルシステム/Windows のみ/ フォルダーにある「ini ファイルの読み込み」と「ini ファイルへの書き込み」オペレーションを使用した場合、ファイルの読み込みまたは書き込み処理で複数バイト文字が正しく処理されません。

不具合 QCCR1D105582:有効な日本語ユーザー資格情報を入力した場合でも、「種別オブジェクトリストの所得」オペレーションが失敗する

日本語ロケールのマシンで、有効な日本語ユーザー資格情報を入力した場合でも、Library/統合/Hewlett-Packard/Universal CMDB/ フォルダーにある「種別オブジェクトリストの所得」オペレーションが失敗します。

文字セットを指定したいいくつかのファイル処理が失敗する場合がある

文字セットを指定したファイル処理が失敗する場合の概要:

- Library/Operations/ファイルシステム/クロスプラットフォーム/ フォルダーにある「ファイルからの読み込み」オペレーションは、複数行データがある場合、UTF-16BE 文字セットを正しく処理できません。しかし、UTF-16 文字セットは正しく処理されます (Defect QCCR1D105624)。
- Library/Operations/ファイルシステム/クロスプラットフォーム/ フォルダーにある「ファイルへの追加」オペレーションは、UTF-16 と UTF-16BE 文字セットを正しく処理できません (Defect QCCR1D105625)。
- Library/Operations/ファイルシステム/Windows のみ/ フォルダーにある「ファイルの読み込み」オペレーションは、複数行データがある場合、UTF-16 文字セットを正しく処理できません。しかし、UnicodeFFFE 文字セットは正しく処理されます (Defect QCCR1D105508)。
- Library/Operations/オペレーティングシステム/Windows の管理/ フォルダーにある「リモートコマンド実行」オペレーションは、UTF-8、UTF-16 と UnicodeFFFE 文字セットでは正しく機能しません (Defect QCCR1D105520)。
- Library/Operations/ファイルシステム/Windows のみ/ フォルダーにある「ファイルへの追加」オペレーションは、UTF-16 文字セットを正しく処理できません (Defect QCCR1D105514)。
- Library/Operations/ファイルシステム/クロスプラットフォーム/ フォルダーにある「ファイルに書き込み」オペレーションは、UTF-16 と UnicodeFFFE 文字セットを正しく処理できません (Defect QCCR1D101346)。

注: 入力として **characterSet** を指定しなかった場合、規定値として UTF-8 文字セットが使用されます。

既知のバグの修正

不具合 QCCR1D96356: Central の「Telnet」オペレーションで、複数バイト文字がサポートされない

[My Ops Flows] フォルダーを右クリックし、ドロップダウンメニューから [Telnet] を選択して Telnet コマンドを作成し、オペレーションをフローに追加した場合、フローの実行時に複数バイト文字が正しく表示されません。これは OO 7.60 で修正されました。

不具合 QCCR1D96359: 「メールの送信」オペレーションで、複数バイト文字がサポートされない

Library/Operations/ 電子メール / フォルダーにある「メールの送信」オペレーションでは、複数バイト文字が破損します。これは OO 7.60 で修正されました。

不具合 QCCR1D96362: 「SQL クエリ LOB」オペレーションで、日本語の文字がサポートされない

Library/Operations/ データベース / JDBC / フォルダーにある「SQL クエリ LOB」オペレーションでは、日本語の文字がサポートされません。これは OO 7.60 で修正されました。

不具合 QCCR1D96364: 「リモートコマンド実行」オペレーションで、日本語の文字が正しく表示されない

Library/Operations/ オペレーティングシステム / Windows の管理 / フォルダーにある「リモートコマンド実行」コマンドでは、日本語の文字が正しく表示されません。これは OO 7.60 で修正されました。

不具合 QCCR1D102977: 「ユーザー名の送信」、「パスワードの送信」、および「Telnet コマンド」オペレーションで、システムアカウントが機能しない

Library/Operations/ リモートコマンド実行 / Telnet フォルダーにある、「ユーザー名の送信」、「パスワードの送信」、および「Telnet コマンド」オペレーションでは、システムアカウントに格納されているユーザー名とパスワードが機能しません。これは OO 7.60 で修正されました。

不具合 QCCR1D103240: 複数のフローを同時に実行すると、「リモートコマンド実行」オペレーションが失敗する

Library/Operations/ オペレーティングシステム / Windows の管理 / フォルダーにある「リモートコマンド実行」オペレーションは、このオペレーションを含む複数のフローを同時に実行すると失敗します。これは OO 7.60 で修正されました。